

衣

KOROMO

和服仕立職

一枚の布が、
形になっていくのは
うれしい。

反物から和服「着物」を仕立てる仕事です。着物の仕立ては反物の検反・検尺から始まり、着たときに一番美しく見えるように色柄の合わせ方を考えて印をつけ、裁断し、主に手縫いで形にしていきます。細やかな感性やデザイン感覚だけでなく、やり直しのきかない工程に関する決断力や、縫い上げるための根気も必要とされます。

職人への道

和裁の専門学校等で知識と技術を身につけてから就職する方法と、和服裁縫所で働きながら経験を積み、知識と技術を身につけていく方法があります。いずれにしても一人前になるまでには5年はかかるといわれ、婚礼衣装等の難しい仕立てには、さらに熟練が求められます。
技能検定 和裁 (1・2・3級)

業界の現状

普段着として着物を着る人は減っていますが、冠婚葬祭の席では今でも需要がありますし、伝統芸能の世界では、着物はなくてはならない存在です。現在では、浴衣等の比較的安価で仕立てが簡単なものは海外で作られることが多くなり、国内では、より高度な技術と感性が必要とされる、難しい仕立てが中心となっています。

取材協力

岡部和裁教室 TEL 046-245-3759
〒243-0804 厚木市関口 1018-10



メッセージ

恐らないこと。
磨ききって、
何でも挑戦
してみたい。



岡部 紀代子さん

職業訓練指導員免許、誠和染色革工芸師範

祖母がお針(裁縫)の先生をしていて、小学生の時から手伝っていました。時間内に縫う修行をしてきたから、集中力も鍛えられました。布の張りが変わってしまうから、出来るだけ一日で縫い上げたいんです。作ることが本当に好きで、反物が入ってくるたびに出来上がりや想像して、早く仕立てたくりますね。それでも、仕立てあがるとうれしい反面、今でも緊張するんです。上手に出来るだろうかって。お客様に気に入ってもらえるように、常に心がけて仕立てています。

衣

食

住

生活

工業

衣

KOROMO

染物師

日本の伝統を支える
一人だという
小さな誇り。

染物師は、丸洗いや染み抜き、洗い張り、染め直し、紋入れ、湯のし、湯通し、防水加工、仕立て直しなど、着物の手入れに関する全てを請け負います。ほとんどが手作業、かつ、やり直しのきかない作業で、高い技術が要求されます。また、染物店では手入れだけでなく和装に関するあらゆることを扱うため、着こなしのセンスなども必要とされる職業です。

職人への道

専門学校などを卒業して、染物店、京染店などと呼ばれるところへ就職し、仕事の中で技術と知識を身につけていきます。着物の知識や手入れの基本的な工程を覚えるのに2年、洗い張りが出来るようになるまでに5年、全てを自分の判断で行えるようになるには10年以上かかります。

技能検定 染色 (1・2級)

業界の現状

着物を着る機会の減少に伴い、昔ながらの仕事は少なくなってはいますが、冠婚葬祭や伝統芸能、お稽古事などで着物を着る人がいる限り、無くなることはない仕事です。また、着物の新しい着こなしも注目されており、流行を捉える感性と経営感覚があれば、新しい需要を作り出していくことも可能です。

取材協力

染めときもの たちばなや TEL 046-228-0557
〒243-0012 厚木市幸町 4-11



メッセージ
着物には白狐の知恵が
たくさん残されています。
興味があったら
書いてみてください。



橋川 一正さん

お手入れから創作着物まで〜和装スタイリスト

私で3代目です。特に悩むことも無く、この仕事に就きました。専門学校で勉強もしましたが、しみ抜きや洗い張りは父から直に教わりました。実際に見て肌で感じることで、自分の力になるんです。この仕事は資格よりもお客様からの信頼が大切ですが、それを得るには時間がかかります。今はどちらかというと、お客様と職人さんを引き合わせるコーディネーターのような仕事をしています。和装のコーディネーターもしています。洋服姿の男性を、3分で和装に変身させて見せますよ。

衣

KOROMO

洋裁師



自分の体にあわせて
作った服は、
着ていてどこも苦しくないの。

着る人の要望と体形に合わせて洋服をデザインし、仕立てる仕事です。デザインに合わせて布を選び、着る人の身体を採寸して型紙を作り、布を裁断し、仮縫い、本縫い、ボタン付けなどを経て、一枚の洋服を作り上げます。全ての作業を一人で行うことが多く、根気が必要です。デザインセンスや流行を読み取る感性なども求められます。

職人への道

服飾、洋裁の専門学校を卒業して、縫製会社や洋裁店などに就職する方法が一般的です。洋裁教室に通ったり、ベテランの洋裁師に弟子入りをして学ぶ方法もあります。いずれにしても、デザインから縫製までの一通りの技能を身につけるには5年以上かかるといわれています。

技能検定 婦人子供服製造（特級、1・2級）

業界の現状

近年では安価な既製服が一般的になり、以前は洋裁師に頼んでいたスーツやドレス等も既製服がほとんどになりましたが、今再び、スーツ等を中心に、体に合わせた注文服のよさが見直されてきています。それに伴い、新しい顧客層に対する若い感性も期待されています。既製服の手直しやリフォームなどにも需要があります。

取材協力

厚木洋裁教室 TEL 046-224-8395
〒243-0812 厚木市妻田北 4-1-25



メッセージ
自分で体に合わせた服を作って、着てみることで、それがしみます。



合田 睦子さん

一級婦人子供服製造技能士
全技連マスター・東京マスター、一般社団法人
日本洋装協会 常務理事（神奈川県代表）

高校のときに制服が体に合わなくて、オーダーメイドで作ってもらって着ていました。これがすごく着心地がよかったです。一人一人体形が違うのにSMLのサイズの服では、必ずどこかがきつとか、不快なところが出てしまうんですね。既製服では我慢しておしゃれするしかないんです。自分で作れば我慢する必要が無い。デザインも、人から「あの服が欲しい」って思われるものが出来たときは最高にうれしい。既製服でも一手間加えれば、もっと素敵に着やすくなりますよ。



衣

KOROMO

クリーニング職

クリーニングから戻った服の包みを開けた時。きれいになってる!あの気持ち。

衣類などの繊維製品や革製品を、原型のまま洗濯する仕事です。しみ抜きやアイロンかけのほか、撥水加工や補修などを行うこともあります。機械化が進んではいますが、しみ抜きやアイロンかけなど繊細な手作業が必要とされる工程もあり、技能の大切さは変わりません。新しい繊維や特殊素材、薬品に関する情報を収集する意欲も必要です。

職人への道

クリーニング業を行うためには、必ず1人以上、クリーニング師をおかなければなりません。クリーニング師になるには、クリーニング店などで働きながら勉強をし、筆記試験と実技試験に合格する必要があります。合格後も、定期的に研修を受けることが義務付けられています。

資格 クリーニング師
関連資格 ボイラー取扱免許

業界の現状

家庭用洗濯機の普及と機能向上、ドライクリーニング指定衣類用に使える洗剤の登場などにより、家庭からのクリーニング需要は減少しています。ですが、毛皮などの特殊素材や高級衣類、着物類、カーテン類など家庭での洗濯が難しいものについては、やはりクリーニング店が頼りです。リネンサプライなどの需要も高まっています。

取材協力

協和クリーニング店 TEL 046-221-4224
〒243-0816 厚木市林 3-20-50



メッセージ
地獄のひとのつながりが基本。人に信頼されれば、仕事もついてくる。



古谷 長生さん

クリーニング師、ボイラー取扱者
神奈川県卓越技能者表彰、日本公衆衛生協会表彰
神奈川県知事表彰、厚木市長表彰

昭和32年から厚木でクリーニング店をやっています。その頃から比べると、服の生地の種類が多くなって、見分けるのも大変になったね。クリーニング店に出さなくてもいい服が増えてお客様は多少減ったけど、良いものを大切にしている人は今も利用してくれるよ。きちんとした方法で手入れをすれば、長持ちするからね。一度、入院して外交をやめたら、お客様から「またやってほしい」って話がたくさんきて、あの時はうれしかった。またやろうって、元気が出たよ。

衣

食

住

生活

工業